

- 例会場／ホテル函館ロイヤルシーサイド TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所／ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長／安田雄二
- 副会長／五十嵐稔
- 会長エレクト／吉村昭夫
- 幹事／平井喜一
- 副幹事／松井明子
- 友好クラブ／
- 長崎東ロータリークラブ



2022~2023

今までに感謝、そして未来へ

2022~2023年度 会長 安田 雄二

第2510地区 第11グループ  
函館東ロータリークラブ



IMAGINE  
ROTARY

ジェニファー・ジョーンズ  
国際ロータリー2022-23年度会長

# 会報

第3096回 11月8日(火)

本日のプログラム

「北海道の道路について」

函館市開発建設部 道路計画課長 武田 祐輔 氏

次週のプログラム 11月15日(火)

「道南の道路について」

函館市開発建設部 道路計画課長 武田 祐輔 氏

第3095回例会 2022年10月25日(火) 天候 晴

月間テーマ ロータリー財団月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 安田 雄二 会長

■ゲスト 大泉 潤 氏

■会長報告

1、国際ロータリー第2510地区2022-23年度地区大会で永年出席100%表彰が行われました。記念品が届きましたのでお渡し致します。

40年 原隆俊会員 20年 佐藤美子会員

15年 宮崎あけみ会員

2、10月21日(金)10・11グループ第2回会長幹事会が開催されました。

3、10月24日が世界ポリオデーという事で、FMいるかで当クラブ65周年を迎えた事、継続事業を紹介して参りました。

4、10/19夕刊(みなみ風)に、タイの車イス寄贈事業の記事が掲載されておりました。

■幹事報告

1、当クラブ次週11月1日の例会は祝日週休会になります。定例理事会は11月8日に開催いたしますので、議題をお持ちの委員会は11月4日までに事務局へお知らせください。

2、第3回クラブアッセンブリーを11月8日(火)午後6時30分から当ホテルで開催いたします。

3、他クラブ例会変更:10月31日(月)函館亀田RC自主休会、11月4日(金)函館五稜郭RC移動例会に変更となります。

## 「変える・繋ぐ・未来へ。」

大泉 潤 氏

■大泉 潤 (おおいずみ じゅん) プロフィール

生年月日 昭和41年3月生れ

最終学歴 早稲田大学法学部 卒業

出身 江別市

【主な職歴】

平成23年6月 総務部秘書課長

平成27年5月 保健福祉部次長

平成29年4月 観光部長

平成29年6月 北海道観光振興機構理事(～令和元年5月)

令和 元年5月 保健福祉部長

令和 4年7月 退職



只今ご紹介をいただきました、大泉潤と申します。

今、多くの大人が函館を諦めています。「どうせこの町にいても・・・。」という声が多く聞こえてきます。将来の人口減少率は、全国の中核市の中でも最悪で、2045年には約35%も減少します。

失望感が地域を覆い、それが子どもたちにも伝わっています。

しがらみに囚われ、分断を繰り返す時代は終わりました。近隣市町とも団結して、道南全体で一つのゴールを目指すときです。

誇りと自信を取り戻すため、真剣に取り組む市民が少しずつ増えています。私はそうした人々と共に歩み、まちの声、小さな声に耳を傾けながら、眠っている地域の宝を全て集めて、その魅力を強みに発信し、負の連鎖に終止符を打ちます。

### 「進化する函館」

それを実現して、現在の危機を切り抜けるためには、次の4年間で最後のチャンスです。

函館の持つ潜在力を現実に力に変え、函館市民のために、希望ある未来への扉を開いて参ります。

未来を開く、「8つの扉」と題し、目指す将来像、その方向性を8項目掲げました。

#### 【8つの扉】

◆教育・文化の振興、

子どもへの投資で未来を育む

◆強い経済回復と市街地活性化で未来に活力を

◆医療と福祉と暮らしを守り、未来に安心を

◆「世界を函館に、函館を世界に。」

観光の未来を創る

◆女性の活躍を支援し、輝く未来を

◆災害に強い、安全都市を実現し、未来を支える

◆インクルージョンの力で未来を変える

◆スポーツ健康都市を進化させ、未来を拓く

今後、できるだけ多くの市民の皆様とお会いし、

ご意見や要望を聞きながら、それぞれについて、具体的な施策をまとめ、しかるべき時期に皆様にお示ししてまいります。

やはり、中心にあるのは、子どもと、子どもの未来を全力で守ることです。

今日、生まれる子どもは、22世紀を生きます。

その時限りではなく、将来にわたり継続して、地域の宝である子どもに投資をし、未来を育むことは我々世代の当然の責任であり、そのヴィジョンを広く発信することで、多くの人々に函館での暮らしを選んでもらえる環境を整えます。

「市政の「改革」」として、5項目を掲げております。

一点目は、急激な人口減少に対し危機感が欠如しております。体制を整備し取組を加速させます。

先程も申し上げたように、今から30年足らずで人口が3分の2以下になる、これほど急激な変化は、必ず解決不能な社会の歪みを生みます。函館市の屋台骨を一気に腐食させ、ぐらつかせる大ピンチであります。

二点目は、広報広聴の改革です。特に、私自身がどんどん市民の皆様のもとに出向いて、まちの声、小さな声を聞いてまいります。業界の声もしっかり聴いて、現場に求められている実効性のある施策を推進します。町会にも伺います。かつて開催されていた「移動市長室」は市内数か所での開催でしたが、これすらも廃止されて久しいところです。市内の各方面別に、希望があれば23方面全てを訪問し、地域それぞれに異なる課題について、トップに直接、気軽に話せる場を設けてまいります。

三点目は、危機管理を改革します。災害はもとより、新型コロナウイルスのような感染症などの危機的状況において、市の司令塔機能を強化し、迅速なメディア対応を講じます。特に、不安にさいなまれている市民を放っておかず、自ら前面に

立ち、メッセージを發します。危機のときこそリーダーの声を届けるコミュニケーションが不可欠です。

四点目は、市役所が何をしているのか、予算がどう使われているのか、わかりやすく伝えることで、市民置き去りの市政運営を改革します。例えば、今から11年前に、北海道新幹線の並行在来線の分離を函館市が認めました。まちを二分する大論争になりましたが、それから11年間、函館ライナーがどうなるのか、誰もがよくわからないままでした。ライナーを「死守」しなければならない程、危ぶまれる状況になってしまったのは、いつからなのか。

こうしたことが起きないように、市の仕事の進捗や予算を可視化し、市民に寄り添った市政運営をしてまいります。

五点目は、政策決定のあり方を改革し、直観や経験ではなく、合理的根拠に基づく政策立案を推進します。

以上の五点は、言ってみればどれも当たり前のことです。しかし、当たり前のことを当たり前にやる、そうした実直さが大切にされずに来ました。

地域のリーダーとは、1千400億の予算権限と3千人の職員の人事権限を振るう単なる権力者ではありません。25万市民に懸命に仕える「奉仕者」です。

私はそれをやり遂げる気力と体力があり、達成の仕方も知っています。

冒頭申し上げたとおり、地域にはたくさんの財産が眠っています。それを全て掘り起こし、輝かせる。そして発信するのは当然の義務です。

私は決して沈黙しません。強力で発信する、その義務を果たします。

今後とも、地域発展、住民福祉の向上のため皆様のお知恵、お力をいただければ幸いです。本日はお招きありがとうございました。

## ■ニコニコボックス

安田会長、平井幹事、佐藤美子会員、鎌田会員、黒島会員、吉村会員、高野会員 大泉潤様、本日の卓話宜しくお願い致します。

## ■広告料

(有)野呂葬儀社 野呂信詞会員

## ■出席報告

・10月25日(火) 会員36名中 出席26名(欠席10名)



## 本日の昼食メニュー

### 洋食 (ハンバーグセット)



### 市内他クラブ プログラム

11月 9日(水)	函館北RC	卓	話
11月10日(木)	函館RC	卓	話
11月11日(金)	函館五稜郭RC	卓	話
11月14日(月)	函館亀田RC	卓	話

◆ テレフォンサービス 26-3170 ◆

## (株)日宣プロダクト

小川 真実 会員

五稜郭町33-11 電話 55-2000

## 大森稻荷神社

小野 孝良 会員

大森町22-6 電話 22-2637